



アール・ブリュットの未来に向かって

天才アートミュージアム展 (第10回展) 2013

近年、世界的にも注目を集めつつある、障害のある人たちによる芸術<天才アート>の豊かな表現世界を約100点の作品で紹介します。当機構の制作会である「アトリエ会」の登録作家の作品を中心に、京都市立総合支援学校生徒の作品、協賛団体の所属作家たちの作品群で、まさに天才作家達のたくましい表現の未来が感じられます。あわせてデザイン化への展開の可能性

もご覧ください。シンポジウムでは、アール・ブリュットと呼ばれる障害者アート、その分野の研究の第一人者である服部 正氏をお迎えして、障害者アートの世界と日本の現在と未来展望についてのレクチャーとディスカッションを交え、皆様と共にお互いの認識を高めたいと思います。多くの皆様の参加をお待ちしています。

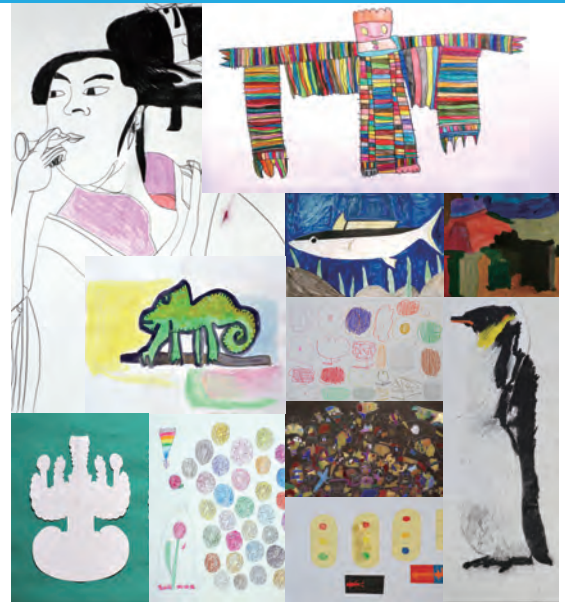
天才アートミュージアムについて

特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構の愛称で 2011年 8月に発足。表現・制作に興味関心・能力のある人たちが、伸び伸びと活動に打ち込める場を恒常的に確保し、その作品などの展示と制作過程や作品の評価研究・デザイン活用研究などを行うことを目的としています。さらに障害のある人の多様な余暇活用や作品の販売・デザイン化による本人の能力を生かした新たな就労形態のあり方を開発し、より豊かな自立と社会参加の形によるノーマライゼーション社会の実現を目指しています。
(本機構定款より)

シンポジウム 基調講演 講師

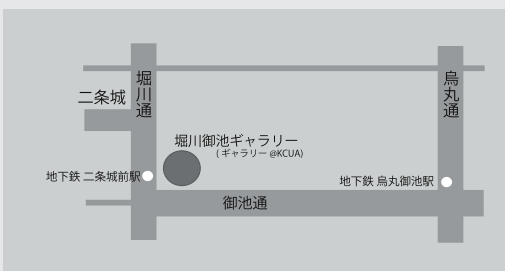
服部 正 (はっとりただし) 氏

甲南大学文学部 人間科学科准教授 兵庫県立近代美術館、兵庫県立美術館、横尾忠則現代美術館の学芸員を歴任。著書『アウトサイダー・アート』(光文社新書)ほか 関連企画展「エイブルアート 99: このアートで元気になる」(東京都美術館 共同企画)、「解剖と変容: フルニー & ゼマーンコヴァー」(兵庫県立美術館 2012年)などを企画担当。大阪大学大学院西洋美術史専攻修士修了。



●これは、イメージ画像です。上記全てが出品されるとは限りません。また、展覧会・イベントの内容については、変更の可能性もありますのであらかじめご了承ください。

堀川御池ギャラリー 交通案内



京都市営 地下鉄「二条城前」駅 (2番出口) 徒歩3分
京都市バス 「堀川御池」バス下車徒歩1分



会員と寄付を募集しています。

- 正会員 当機構の運営の中核となります。当機構の目的・趣旨に賛同していただける方々との連携と協働による運営を目指しています。(現在、芸術・教育・福祉等の関係者が参画しています) 入会金: 1口3千円, 年会費: 1口2千円
- 賛助会員 当機構の趣旨に賛同される、個人、企業、法人、団体様。年会費 個人: 1口千円 (1口以上でお願いします) 団体・企業様等: 1口千円 (できれば10口以上お願いします)
- 名誉会員 当機構の趣旨に賛同され、基金・寄付金・助成金等として10万円以上、又は同等額の物品の寄付をいただいた企業、法人、団体、篤志家様。

- 募集は、展覧会場でも行っています。
- 公式サイト: <http://www.tensai-art.com>